

教育研究実績書

2013年11月21日現在

氏 名 小 泉 吉 永 (印)

1: 著 書				
1) 女子用往来刊本総目録 (編著者:小泉吉永) * 242頁(図版16,目録226)	単著	1996.2.29	大空社	江戸時代に刊行された女子用往来と、女子教育用に編まれた「百人一首」の出版目録(約3000種)。
2) 稀観往来物集成 (編著者:小泉吉永) * 全32巻、総1万5537頁(影印と解題を含む) * 32巻中11巻分の解題を小泉が担当	共著 (解題)	1996.7.27 -1998.1.22	大空社	日本有数の往来物コレクションから稀観書218点を影印収録。各巻毎に解題を分担執筆。
3) 女筆手本解題(日本書誌学大系80) (編著者:小泉吉永) * 354頁(図版72頁,解題282頁)	単著	1998.12.25	青裳堂書店	江戸期刊行の女性書道手本「女筆手本」類の解題集(合計337点)。「女筆手本類」を初めて類型化。
4) 江戸時代女性文庫・補遺「女筆手本類」 (編著者:小泉吉永) * 全12巻、総5282頁 解説Ⅰ: 1巻P.385-404(計20頁) 解説Ⅱ:12巻P.391-403(計13頁)	単著	1999.12.8 -2000.10.28	大空社	女筆手本類47点を影印収録。収録書の解題と解説を執筆し、「女筆手本類文献一覧」を作成。
5) 往来物解題辞典 (編著者:小泉吉永) * 全2巻、総1643頁(解題編852頁、図版編791頁) * 解題3769項目中3368項目を小泉が執筆。	共著	2001.3.10	大空社	中世から近代までの往来物を網羅的に調査し、詳細な解題を施した初の辞典。約10年で延べ3万点を調査し、3769項目を収録。
6) 女大学資料集成 (編著者:小泉吉永) * 全20巻+別冊1冊、総7191頁 * 別巻論文「女大学」の世界(P.165-198(34頁))。	単著	2003.10.26 -2006.7.29	大空社	近世から現代までの「女大学」関連資料約60点の影印集成。別巻に関連論文・総索引・「女大学関係年表」を収録。
7) 江戸時代 諸国海陸旅案内 * 287頁(翻字・現代語訳)	単著	2004.10.1	人文社	江戸期道中記の『改正日本船路細見記』『諸国道中旅鏡』を全文翻字し、現代語訳を施す。
8) 近世蔵版目録集成・往来物編 (編著者:小泉吉永) * 全3巻+別冊1冊、総1488頁	単著	2005.8 -2006.1 * 日付記載なし	岩田書院	江戸中期から明治初年までの刊本往来物の書籍広告を年代順に配列し、書名・板元索引を付した。
9) 江戸の教育に学ぶ (『NHK知るを楽しむ・歴史に好奇心』2006年10-11月号 * 91頁(P.8-98)	単著	2006.10.1	日本放送協会	NHK教育テレビ番組用テキスト。江戸時代の教育に関する4回シリーズ。
10) 近世育児書集成(第1回) (編著者:小泉吉永) * 1-10巻、総4850頁	単著	2006.12.25	クレス出版	江戸初期～明治初年の代表的育児書54点を影印収録。編集・解題の全てを担当。
11) 江戸の子育て十カ条 * 159頁	単著	2007.10.25	柏書房	『養育往来』の子育て論を10カ条に整理して原文(影印)と翻字を掲げ、現代語訳を施した。
12) 「江戸の子育て」読本 * 191頁	単著	2007.12.12	小学館	江戸検定上級テキスト。江戸時代の教育論の数々や教育の実情などを紹介。
13) 近世礼法書集成 (編著者:小泉吉永) * 全15巻+別巻1冊、総5965頁	単著	2007.12.25 -2008.9.25	クレス出版	江戸時代の小笠原流礼法書53点の影印集成。編集・解題・索引の全てを担当。

14) 大坪流馬術書 (編著者:小泉吉永) *全2巻・総723頁(うち「解説」28頁・「大坪流・大坪本流馬術書一覧」23頁)	単著	2008.6 *日付記載なし	岩田書院	大坪流馬術書の初の影印資料。正徳5年写本16冊本を完全収録し、解説を施した。
15) 庄屋心得書 親子茶呑咄 (編著者:小泉吉永) *372頁(うち解説50頁、)	単著	2008.9 *日付記載なし	岩田書院	大庄屋・西村次郎兵衛が子孫のために記した安永8年作『親子茶呑咄』を影印収録し解説を付す。
16) 秘伝 江戸の古いとおまじない (監修者:小泉吉永) *240頁	単著	2008.11 *日付記載なし	主婦と生活社	天保11年刊『永代大雑書万暦大成』を翻刻・再編集した一般書。翻字と記事の校正などを担当。
17) 江戸に学ぶ人育て人づくり(角川SSC新書) (著者:小泉吉永) *206頁	単著	2009.3.25	角川SSコミュニケーションズ	江戸時代の父親の子育てや父道、生涯指針に関する理念や正直思想と教育思想との関連などを述べた。
18) 経典余師集成 *全10巻、総4452頁 (編著者:小泉吉永)	単著	2009.6.23 -2009.12.12	大空社	溪百年編「経典余師」の初の影印集成。全巻の編集と解説を担当。
19) 近世町人思想集成 (編著者:小泉吉永) *全17巻、総5766頁	単著	2010.3.25 -2010.8.25	クレス出版	江戸時代の町人教訓書58点の影印集成。編集・解題・索引を担当。
20) 近世育児書集成(第2回) (編著者:小泉吉永) *11-18巻、総4250頁	単著	2011.8.25	クレス出版	江戸初期～明治初年の代表的育児書50点の影印集成。解題執筆と編集を担当。
21) 複製版 貞丈雑記 (編著者:小泉吉永 *ただし出版社の判断で編集者名を奥付に明記せず) *全4巻、総2200頁(うち解題・貞丈著作一覧48頁)	単著	2012.6.20	大空社	江戸随一の故実家・伊勢貞丈が晩年に集録(36部2350項目)し子孫らよって刊行された『貞丈雑記』の影印。解題執筆と編集を担当。
22) 江戸時代庶民文庫(全8回配本予定) (編著者:小泉吉永) *全60巻・別巻1、総22000頁予定	単著	2012.11. -続刊中	大空社	江戸時代の庶民生活に関する多彩な文献の影印集成。解題執筆と編集を担当。
23) 江戸の处世訓 あつめ草 (編著者:小泉吉永) *全5巻・別巻1、総2550頁(うち解説51頁)	単著	2013.5.23	大空社	石門心学書等の教訓書の叢書「あつめ草」全5篇の影印。解題執筆と編集を担当。
24) 石門心学書集成(全3回) (編著者:小泉吉永) *全22巻、総12800頁予定	単著	2013.5.25 -2014.1予定	クレス出版	日本人の思考や行動に多大な影響を与えた石門心学書120点以上を影印収録。編集・解題の全てを担当。
25) 江戸版 親父の小言 (底本所蔵・解説者:小泉吉永) *15頁(うち解説3頁)	単著	2013.8.23	大空社	従来ルーツとされてきた昭和3年「親父の小言」45カ条より約80年早い嘉永5年板「親父の小ごと」81カ条を発見したため、影印・翻字に解説を加えて刊行。

2:論 文				
26) 教訓書に見る近世の再婚観と託静の『再縁訓』 *『江戸期おんな考』4号、P.31-43(計13頁)	単著	1993.9.1	桂文庫	託静の『再縁訓』を中心に、近世の再婚観や世俗倫理で社会教化を展開した近世浄土宗の一端を紹介した。
27)『和俗童子訓』から『女大学』へ —「新女訓抄」からの考察— *小泉吉永編著『江戸時代女性生活研究』、P.38-63(計26頁)	単著	1994.6.21	大空社	「女大学」の成立に関する従来の定説への疑問を投げかけ、独自の説を展開した論考。
28)『女大学』と柏原屋清右衛門 *『江戸期おんな考』5号、P.37-51(計15頁)	単著	1994.9.1	桂文庫	前掲論文を発展させて『女大学』の成立過程と『女大学』をめぐる出版訴訟から板

				元の販売戦略にも言及。
29) 江戸期の婚礼関連書 *『江戸期おんな考』6号、P.49-70(計22頁)	単著	1995.9.1	桂文庫	江戸期の婚礼関連書12点の婚礼記事の変化等から、武家から庶民へと広がった婚礼儀式の様子を紹介。
30) 近世刊行の女筆手本について *『江戸期おんな考』7号、P.80-103(計24頁)	単著	1996.9.1	桂文庫	「女筆」の意味や、女筆手本の筆者・内容の関連から江戸前・中・後期における変遷などを論じた。
31) 居初津奈の女用文章 *『江戸期おんな考』8号、P.48-74(計27頁)	単著	1997.9.1	桂文庫	居初津奈の作品と事跡を明らかにし、その独自性や後続の女子用往来への圧倒的な影響力について述べた。
32) 近世女文における「かしこ」 —女筆手本類からの一考察— *『江戸期おんな考』9号、P.79-99(計21頁)	単著	1998.9.1	桂文庫	女子消息の書止「かしこ」の諸説や男性書簡での使用例、徐々に女性独自の用語に変貌する様子を述べた。
33) 近世の女筆手本—女文をめぐる諸問題— *学位論文【金沢大学・博士(学術)】、146頁 ★査読論文	単著	1999.3.25 (学位授与)		女筆手本類の網羅的調査により類型化を試み、女筆手本類に特有な「散らし書き」等の書法や女性書札なども多角的に検討し、全体像を明らかにした論文。 本研究により「江戸時代のジェンダー史、書誌学、書道史、国語学史等に精度の高い資料的基盤を提供した」点が評価された。
34) 女筆手本類の筆者としての津奈と妙舂 *『日本の教育史学』42集、P.23-41(計19頁) ★査読論文	単著	1999.10.1	教育史学会	江戸期女筆手本類の変遷と代表的作者である長谷川妙舂・居初津奈の事跡や作品を紹介。「従来の盲点をついた、しかし手習い研究の原点とも言えるものであり、女筆の社会的意味に及ぶ検討」と評価された。
35) 近世女性礼法の源流 —『女房筆法』と『女房進退』を中心に— *『江戸期おんな考』11号、P.6-22(計17頁)	単著	2000.10.1	桂文庫	最古の体系的女性礼法書である『女房筆法』『女房進退』の成立について考察。
36) 続女大学 —『女大学』に似て非なる「異種女大学」— *『江戸期おんな考』12号、P.33-49(計17頁)	単著	2001.10.1	桂文庫	新発見の『続女大学』の全文を翻字し、『女大学』との相違について述べた。
37) 艶書と散らし書き *『江戸期おんな考』13号、P.38-50(計13頁)	単著	2002.10.1	桂文庫	一枚の艶書(恋文)を読み解きながら、艶書と散らし書きについて論じた。
38) 近世庶民の生涯指針と随年教法 *『江戸期おんな考』14号、P.23-37(計15頁)	単著	2003.10.1	桂文庫	江戸期の年代別教育論を比較検討し、読み・書き・算盤、礼法、諸芸・実技教育の年代差や男女差を検討。
39) 女子用往来と百人一首 *白幡洋三郎編『百人一首万華鏡』、P.55-70(16頁)	単著	2005.1.9	思文閣	江戸期子女教育における「百人一首」の役割や意義について考察。
40) 百人一首と女子教育 *武庫川女子大学関西文化研究センター編『関西文化研究』3号、P.22-38(17頁)	単著	2005.11.1	武庫川女子大学 関西文化研究センター	江戸時代の往来物から、百人一首の庶民への受容について述べた。
41) 父子の移ろい—江戸の「父」と子育て *『母子絵百景—よみがえる江戸の子育て』、P.89-91(計3頁)	単著	2007.2.28	河出書房新社	江戸時代の家庭教育における父の中心的役割について、具体的に述べた。
42) 寺子屋の文字教育 *『アジア遊学』No.109、P.137-152(計16頁)	単著	2008.4.21	勉誠出版	明治初年まで「1日1字」が基本の読み書き学習の様相や、寺子屋教育におけるカリキュラム意識を例証。
43) 心つないだ寺子屋教育—現代教育の忘れ物— *『江戸子ども百景』、P.89-92(計4頁)	単著	2008.5.30	河出書房新社	寺子屋教育での師弟関係や家庭的情味など、近代学校教育との違いを述べた。

44) 江戸時代の世継ぎ教育 *『歴史読本』第53巻7号、P.188-193(計6頁)	単著	2008.7.1	新人物往来社	大名世子教育の難しさと、それを成就するための教育論を紹介。
45) 女筆の時代と女性たち *『民衆史研究』第79号、P.13-33(計21頁)	単著	2010.5.22	民衆史研究会	2009年12月の民衆史研究会大会シンポジウム「書物からみる近世女性の「知」」での発表をまとめたもの。
46) 江戸の育児書に学ぶ「人づくり七カ条」 *『道経塾』(No.66)、P.40-41(計2頁)	単著	2010.5.1	モラロジー研究所	山鹿素行を始めとする江戸の教育論から企業における人づくりのポイントを7カ条に整理して述べた。
47) 江戸の子育てから学ぶ *『教育と医学』第58巻6号、P.40-47(計8頁)	単著	2010.6.1	慶應義塾大学出版会	江戸時代のあやまり役や江戸時代の教育論から現代の教師や親の指針や地域社会における子育てのあり方について述べた。
48) 図説 江戸・幕末の教育力 (金子堅太郎ほか編) *P.82-103(計22頁)	共著	2013.3.21	洋泉社	第3章「庶民の教育熱に応えた寺子屋」、第4章「多彩な江戸の学び」前半部(江戸時代の女子教育)を執筆。

3:その他(学会発表／講演／メディア出演／事典項目・書評・翻字等)		
49) 発表「近世における女筆手本について」	1998.6.27	日本教育史学会・第409回例会
50) 発表「女筆手本類の筆者としての津奈と妙躰」	1998.10.3	教育史学会・第42回大会
51) 発表「往来物における絵図資料の活用について」	2002.10.6	教育史学会・第46回大会コロキウム
52) 発表「女子用往来と百人一首」	2003.2.11	国際日本文化研究センター・シンポジウム
53) 発表「百人一首と女子教育」	2005.6.25	武庫川女子大学関西文化研究センターフォーラム「雅俗交流と創造世界—百人一首の成立と享受—」
54) 発表「女筆の時代と女性たち」	2006.7.1	江戸の女性史フォーラム(平成17-19年度科研費基盤研究「近世日本における女性のライフサイクルと地域社会」主催)
55) 発表「往来物と文字教育」	2007.4.28	フランス国立極東学院主催ワークショップ「文字を見る、絵を読む—日本文学とその媒体」
56) 発表「女筆の時代と女性たち」	2009.12.13	民衆史研究会大会シンポジウム
57) 講演「往来物について」	1996.7.10	東京学芸大学附属図書館
58) 講演「女往来物と女筆手本」 59) 講演「散らし書きの読み方」	2002.4.28 2002.5.12	尾島町立満徳寺資料館・特別展(4/27-6/9)で資料提供・展示指導・図録作成および2回講演
60) 講演「女筆の時代と女性たち」	2002.12.7	桂の会主催・近世女性史講座
61) 講演「江戸の学びと子育て」	2004.1.24	朝霞市博物館・くらしと文化の講座
62) 講演「庶民生活と百人一首」	2005.1.7	(社)全日本かるた協会・百人一首文化講演会
63) 講演「魅惑の往来物」	2005.7.23	江戸東京博物館・ボランティアガイド研修
64) 講演「江戸期女性の読み・書き・そろばん」	2006.3.3	江戸東京博物館「江戸の学び—教育爆発の時代—展」(2/18-3/26)に資料提供および講演
65) 講演「女大学の世界」	2006.5.14	太田市立縁切寺満徳寺資料館・特別展(4/29-6/11)で資料提供・展示指導・図録作成および講演
66) 講演「『親子茶呑咄』に学ぶ経営者の心」	2007.2.27	浦和北東ロータリークラブ例会
67) 講演「寺子屋の世界」	2007.5.13	太田市立縁切寺満徳寺資料館・特別展(4/26-6/8)で資料提供・展示指導・図録作成および講演
68) 講演「江戸の子育て—現代へのメッセージ—」	2007.5.19	川崎市小児科医会創立40周年記念式典
69) 講演「江戸の子育て」	2007.6.10	立正校成会川口教会
70) 講演「九十九里の手習師匠が書いた子育て書」	2007.6.23	千葉市多田屋・教養講座
71) 講演「江戸の子育て—その知恵を現代に活かす—」	2007.10.4	郡上市小中学校校長会主催・郡上市教育講演会
72) 講演「印刷物から探る江戸文化の魅力」 *青木美智男・小沢詠美子・小泉吉永によるトークショー	2007.12.8	書協・雑協創立50周年記念、江戸文化歴史検定合同企画
73) 講演「江戸時代に学ぶ教育と子育て」	2008.2.18	孺恋村・健康であたたかい地域づくりを考える会
74) 講演「江戸時代に学ぶ教育と子育て」	2008.3.6	原村・特定相談員研修会
75) 講演「江戸の庶民教育 —子どもの心身の健康をどう育んだか—」	2008.3.17	青森市・特定健診相談員育成研修会
76) 講演「江戸の子育てⅠ.その思想に学ぶ」	2008.5.11	太田市立縁切寺満徳寺資料館・特別展(4/26-6/8)で資料提供・展示指導・図録作成および講演
77) 講演「有備館で寺子屋体感！」	2008.8.2	大崎市・有備館企画展「寺子屋の世界」(7/1-9/21)で資料提供および講演(小学生の部と成人の部の2回講演)
78) 講演「子どもは親の通信簿 —江戸時代の子育てから学ぶこと—」	2008.8.3	大崎市教育委員会

79) 講演「江戸の子育て——光と闇」	2008.11.29	群馬県立文書館・古文書解読公開講座
80) 講演「往来物(近道子宝・小野篁歌字尽を中心に)」	2009.8.29	東京学芸大学附属図書館の有志勉強会
81) 講演「江戸の徳育に学ぶ」	2009.9.5	江戸川区立松江第五中学校・道徳地区公開講座
82) 講演「江戸に学ぶ人育て人づくり ——日本の教育文化を見直そう！」	2009.9.12	町田市・地域社会福祉講演会
83) 講演「往来物の中の用文章の位置」	2009.9.27	太田市立縁切寺満徳寺資料館・三くだり半企画展(9/26-11/8)で資料提供および講演
84) 講演「江戸の子育てⅡ.日本の父道と胎教論」	2010.5.9	太田市立縁切寺満徳寺資料館・特別展(4/24-6/6)で資料提供・展示指導・図録作成および講演
85) 講演「江戸に学ぶ子育て・人づくり」	2010.6.19	蔵市スポーツ少年団・研修会
86) 講演「江戸に学ぶ子育て・人づくり」	2010.6.20	川口明るい社会づくりの会・講演会
87) 講演「江戸時代の子育てに学ぶ」	2011.11.13	ひょうご家庭応援県民大会・基調講演
88) 講演「往来物から見える庶民の教養」	2012.1.18	昭和女子大学・特殊研究講座
89) 講演「江戸の子育て—父母と手習師匠の役割—」	2012.2.18	海部歴史研究会講演会(愛西市)
90) 講演「江戸に学ぶ子育て・人づくり —日本の教育文化を見直そう！—」	2012.7.21	東久留米市男女平等推進センター・市民企画講座(東久留米市)
91) 講演「女流書家としての居初津奈」	2012.8.19	奈良絵本・絵巻国際会議・公開講演会(慶應義塾大学日吉校舎)
92) 講演「江戸の教科書「往来物」の世界」	2012.9.15	板橋区公文書館講演会
93) 講演「江戸のお神籤と占い」	2012.11.2	安田健一氏主宰の異業種交流会での講演(新宿・ハイアットリージェンシー東京)
94) 講演「体罰なき教育は日本の伝統」	2013.7.27	東久留米市教育委員会主催・市民自主企画講座
95) 講演「江戸に学ぶ人育て人づくり」	2013.9.25	小田原箱根商工会議所・商業部会 臨時総会特別講演会
96) 講演「新島八重と江戸時代の会津あれこれ」	2013.10.8	公益社団法人武蔵府中青色申告会・役員研修旅行での研修
97) 講義「江戸の胎教論と父道」	2013.11.12	日本女子大学でのゲストスピーカー
98) 講演「寺子屋と江戸庶民の学び」	2013.12.1	ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館・特別展記念講演会
99) 講演「百人一首の世界—遊びつつ学ぶ女性の嗜み—」	2013.12.15	太田市立縁切寺満徳寺資料館・特別展(11/9-1/13)で資料提供・展示指導・図録作成および講演
100) 出演「子どもはご近所の宝物」 「往来物という教科書」 「女のたしなみ教えます」 「本当は面白い数学の話」	2006.10.5 2006.10.12 2006.10.19 2006.10.26	NHK教育テレビ「知るを楽しむ・歴史に好奇心」の「江戸の教育に学ぶ」4回シリーズのメインゲストとして出演
101) 出演「あの人を射止める戦略」	2008.6.12	NHK教育テレビ「知るを楽しむ・歴史に好奇心」の「江戸の色恋ものがたり」の第2回に出演
102) 出演「日本の教育文化」についてのコメント	2009.4.25	NHK-BS「双方向クイズ にっぽん力」に出演
103) 出演「大江戸子育て事情」	2010.1.5	NHK教育テレビ「知るを楽しむ・歴史は眠らない」で香山リカ氏と対談(2010.11.2再放送)
104) 出演「家訓を作ろう！」	2010.3.28	NHK-FMラジオ番組「日曜喫茶室」で藤本義一氏と対談
105) 出演「三従から三くだり半へ」	2010.8.10	NHK教育テレビ「知るを楽しむ・歴史は眠らない」の「婚活白書」の第2回に出演
106) 出演「江戸の子育て」	2012.4	共同テレビジョン・CS時代劇専用チャンネル「時代劇おもしろ雑学『虎の巻』」ゲスト出演
107) 出演「寺子屋」	2012.4.30	BS-TBS歴史教養番組「謎解き! 江戸のススメ」

108) 出演「お神籤」	2012.6	共同テレビジョン・CS時代劇専用チャンネル「時代劇おもしろ雑学『虎の巻』」ゲスト出演
109) 出演「祭」	2012.9.17	BS-TBS歴史教養番組「謎解き! 江戸のススメ」
110) 出演「江戸庶民の一生」	2012.10.8	BS-TBS歴史教養番組「謎解き! 江戸のススメ」
111) 出演「占い・風水とパワースポット」	2013.1.28	BS-TBS歴史教養番組「謎解き! 江戸のススメ」
112) 出演「女の一生」	2013.4.15	BS-TBS歴史教養番組「謎解き! 江戸のススメ」
113) 出演「江戸時代にあった親父の小言」	2014.3.17	NHK総合・Eテレ「視点・論点」
114) 出演「江戸庶民の人生訓“親父の小言”に学ぶ」	2014.4.17 ～4.17予定	NHKラジオ「ラジオ深夜便・ないとエッセー」 4日間連続
115) 書評「天野晴子『女子消息型往来に関する研究』」	1998.9.1	『江戸期おんな考』第9号(桂文庫)240頁
116) 翻字「浮世絵に見る江戸の子どもたち」(小学館) * 全231頁	2000.11.20	浮世絵の詞書の翻字を担当。往来物や寺子屋教育に関しては浮世絵解釈の助言も行った
117) 事典「日本女性史大辞典」(吉川弘文館) * 全964頁、全約3100項目中23項目を担当	2008.1.10	日本女性史の初めての本格的な辞典。3100余項のうち「女鏡秘伝書」「女家訓」「女教訓文章」など女訓書類23項目執筆
118) 連載「江戸「人間教育」の秘訣」(月刊『武道』) * 日本武道館発行の月刊誌(各回6頁)	2013.1-2015. 12	主に江戸時代の資料や実例に基づく人間教育について紹介(約40回の連載)
119) 経営者向けDVD「江戸時代の教訓書『親子茶吞咄』に学ぶ経営者の心」(株式会社ブレーン)	2013.1	江戸中期の庄屋マニュアル『親子茶吞咄』の中から、現代にも活かせる指導者の心得を説いたビデオ(合計110分)に出演

4: 参考(インタビュー・取材協力等)		
120)	1995.11	朝日新聞(愛知版)記事「津田正生作結婚マニュアルです」に取材協力
121)	1999-2000	つくば大学附属図書館の古典籍(乙竹文庫等)データベース化に協力(データ提供および助言)
122)	2002.10	国立国会図書館ホームページの「データベース・ナビゲーション・サービス」に対するデータベース(女筆手本解題/三次市立図書館所蔵往来物データベース/往来物解題/女子用往来刊本総目録)のリンク公開要請に対して協力
123)	2003.10	東京学芸大学附属図書館・企画展「江戸の教科書—往来物展」に助言・協力
124)	2004.2	福生市郷土資料館・特別展「江戸の教科書」に助言・協力
125)	2004.6	JF共済機関誌『漁協の共済』インタビュー「“魚字尽”は江戸の初等教科書」
126)	2005.10	日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会雑誌『gcj』第32巻11号インタビュー「蒐集した往来物は5000冊以上、デジタルデータサービスも開始」
127)	2006.2	江戸東京博物館・企画展「江戸の学び—教育爆発の時代—展」に助言・協力
128)	2006.5	中田秀夫監督・映画作品「怪談」に助言(江戸時代の女性の手紙について)
129)	2006.5	NHK総合テレビ「江戸の頭脳に挑戦！」に助言・協力
130)	2006.8	NHK総合テレビ「江戸の頭脳に挑戦！その2」に助言・協力
131)	2006.10	宮城県大崎市旧有備館・秋季展「江戸の学びと往来物」に協力
132)	2007.1	(株)スリーボンド発行『URC』116号インタビュー「往来物で知る江戸の子育て」
133)	2007.1	小学館雑誌『サライ』2月号「サライ流脳を鍛える練習帖」に協力(執筆・助言・資料提供)
134)	2007.4	NHK教育テレビ「知るを楽しむ・歴史に好奇心」の「日中二千年、漢字のつきあい」に協力
135)	2007.6	NHK教育テレビ「この人この世界」に協力(助言・資料提供)
136)	2007.7	福井県文書館・企画展「ふくいであらう—地域の手習いと教科書」に編集協力(助言・展示協力)
137)	2007.8	育児雑誌『さんさい』(天理教少年会)第57巻8号インタビュー「子どもは親の通信簿—江戸時代のしつけの心得—」

138)	2007.11	日本教育技術学会福島大会における小学校国語の授業講座に協力(助言・資料提供)
139)	2008.6	日本公文教育研究会の季刊誌『Capable(ケイパブル)』インタビュー「江戸の子育てに学ぼう！」
140)	2008.7	NHK総合(新潟県内放送)きらっと新潟「クイズ合戦「天地人」。直江兼続を知ろう！」に助言
141)	2008.7	宮城県大崎市教育委員会主催「寺子屋の世界」に協力(助言・出展・展示指導・図録作成等)、併せて、8月2日に寺子屋教育関連講座2回、8月3日に講演「子どもは親の通信簿」
142)	2009.3	学習研究社『頭のいい子の育て方 4・5・6歳で伸びる子伸びない子』インタビュー「お江戸の4・5・6歳事情」
143)	2009.8	ナレッジフォア社の月刊誌『フィナンシャルジャパン』(第6巻8号)インタビュー「世襲の経済学」
144)	2011.7	NHK BSプレミアム「美の壺」(日本の夏スペシャル)に協力(助言・資料提供)
145)	2011.7	NHK BSハイビジョン「につぼん微笑の国の物語—江戸文明への旅—」に協力(助言・資料提供)
146)	2013.8	朝日新聞(全国版)8/30付夕刊「親父の小言 起源は江戸／人生訓45カ条より古い81カ条」の取材協力
147)	2014.1	日本経済新聞(全国版)1/24付朝刊「江戸期の教材 庶民の鏡」の取材協力